

経営比較分析表

埼玉県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	48.11	100.00	3,673

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,589	33.41	346.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,549	2.82	1,967.73

グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

● 類似団体平均値(平均値)

【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



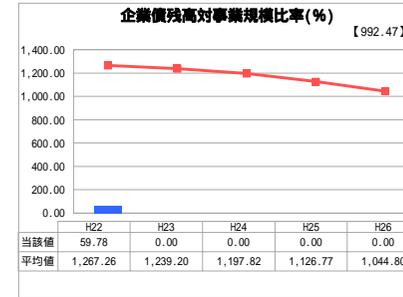
「単年度の収支」



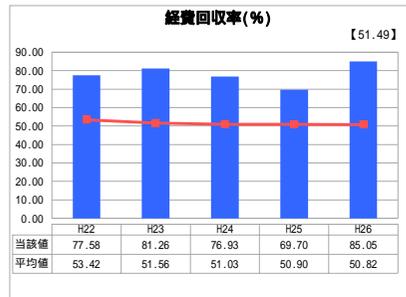
「累積欠損」



「支払能力」



「債務残高」



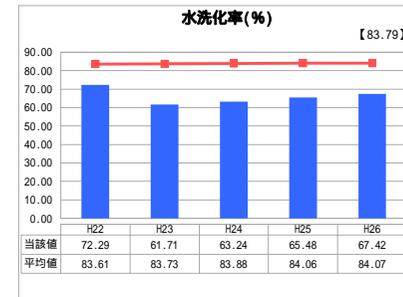
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

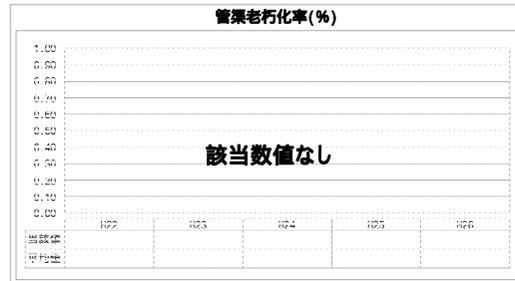


「使用料対象の捕捉」

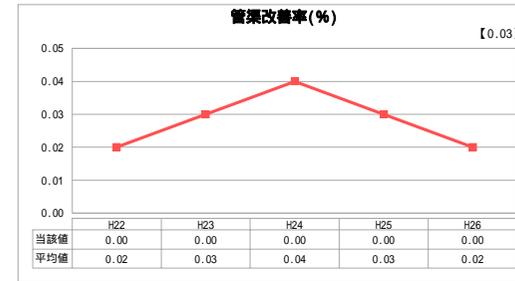
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析稿

1. 経営の健全性・効率性について

美里町の農業集落排水事業は、「経営の健全性・効率性」に関する経営指標は、類型団体と比較すると、低い数値です。平成25年度に整備完了し供用開始後間もないことを踏まえても、「施設の効率性」に関する経営指標である「水洗化率」及び「施設利用率」が低いと考えられます。経営改善のためには、今後も引き続き、回覧や広報紙での継続促進、また戸別訪問などを行い水洗化普及活動に尽力し、水洗化人口及び有収水量の増加を目指して必要があります。

2. 老朽化の状況について

美里町の農業集落排水事業は、平成7年度に十条処理区、小栗処理区、平成9年度に広木処理区、平成10年度に沼上処理区、円良田処理区、平成16年度に駒衣処理区、平成25年度には南部中央処理区が完成し、7処理区すべてで供用開始しています。十条処理区については供用開始後20年が経過し老朽化が著しいため、平成27年度に施設の機能診断業務を行いました。また他の施設も機能診断業務を行います。今後は、各処理区の診断結果を基に事業の再編整備計画を策定し、施設の機能強化や処理区の統合を実施する必要があります。

全体総括

美里町は今後施設の老朽化対策が急務になると思われます。接続率の向上や、維持管理費の削減など経営改善を行いつつ、将来人口の推移を踏まえた処理区の統合や施設の機能強化を行い効率的で経済的な事業運営を目指します。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。